

# ☆さつきばれ通信☆

## 子どもや保護者の“声を聴く”ということ

紅葉がすっかり見ごろになり、お米や果物など食べ物も美味しい季節になりました。つい食べ過ぎてしまいますが、体も動かしながら、程よくストレス発散していきましょう。

さて今回は、9月に行なわれた「子ども虐待防止国際会議 名古屋 2014」の様子をお伝えしていきたいと思います。

この会議は、第20回 ISPCAN（世界子ども虐待防止学会）国際世界大会・第20回 JaSPCAN（日本子ども虐待防止学会）学術集会を兼ねて開催され、副題として「子ども中心の社会に向けて：過去から学び、未来に向けて行動しよう」というテーマで行なわれました。世界各国70の国と地域から、2,500名を越える参加者が参加され、講演会、シンポジウム、分科会、ポスターセッションなどが5日間にわたって行なわれました。私は、そのうち2日間の参加でしたが、それでも充実した学びの場となりました。

国や人種が違って、世界各国で子ども虐待をめぐる問題・事故が頻発している一方、それらの問題に対して、世界中の識者が協力して、1人でも多くの子どもたちを救おうと尽力されていることを改めて実感することができました。

その中でも、今回は特に私が関心を寄せた4つの報告について概要をご紹介します。難しい言葉も多くあるかもしれませんが、お付き合いいただければ嬉しいです。



1つは、“ケンプ・レクチャー”です。これは、ISPCANの大会の中で、世界で子ども虐待防止に寄与する研究や活動を行なっている個人・団体に贈られるケンプ賞受賞者による講演会です。今年は、オーストラリアのキム・オーツ教授（シドニー大学名誉教授）が受賞し、講演が行なわれました。キム教授は、児童虐待が脳に与える影響を指摘し、さらに、虐待の種類によってもその影響が異なることを示唆しました。その上で、研究者と実務者の間にギャップがないように、さらには、人材育成と制度改革のバランスが必要であると述べられました。

2つめは、青年会議（Youth Plenary）において、高校生や若者が中心となって立ち上げた「NPO法人全国子ども福祉センター」の活動報告を中心に、世界のユース世代のディスカッションが行なわれました。このセンターは愛知県名古屋市に本拠地を置き、「居場所のない『こども』へ『安心できる居場所』を提供し、社会参加を後押しする」ことを理念とし、街頭パトロール・相談、居場所づくり、自立支援、シェルター事業など、“直接接触



型アウトリーチ”を行なっています。子どもの立ち上がる力・子ども同士が切磋琢磨し成長し合う力を改めて、目の当たりにした思いです。

3つめは、大阪府大阪市西成地区にある「カトリック大阪大司教区 こどもの里」の取り組みです。この地域は元来、差別部落、貧困、地域社会との断絶、負のスパイラルが長年抱えている課題でもあります。こどもの里では、そのような被差別地域における子育てを応援するため、遊びの場・育児相談や生活相談の場・生活の場・学習の場など、さまざまな役割を果たしています。代表の壮保共子氏は長年の活動を通して、中学校区に1つ、子どもの居場所として“包括的地域子どもセンター”（仮）という、子育て＋貧困＋子育て＋虐待防止のネットワークを築く拠点の創設を提案されていました。

さらに4つめは、家庭科教諭による“0次的予防教育”です。これは、妊産婦への支援が1次的予防といわれる中、望まない妊娠、経済的な問題の認識、子育ての大変さ、貧困と虐待の連鎖、母親の孤立化への理解など、踏み込んだ内容について、高校生のうちに家庭科授業で生徒たちに体験を通して学ぶ機会を提供しているという実践報告です。“親になる覚悟”を少しずつ身につけていくことで、安易な妊娠を予防し、心身ともに安心して子どもを育てられる環境を自ら作っていける素地を養うことにつながると感じました。

その他にも多く講演・報告等から、子どもの声を聴くこと、保護者の声を聴くことの大切さ、また、そこからスタートする支援の重要性を学ぶことができました。子どもが幸せになるためには、周囲にいるおともも幸せにならなければなりません。人が真に幸せと感じるのは、家庭の中、地域の中、職場の中などが充実し、「そこにいても良い」と感じる自己有用感や自己肯定感、その上で、自己実現の欲求を求めていくことができるときではないでしょうか。

子どももおともも日々“小さな幸せ”を感じることで、地域を、みなさんと一緒につくっていければ嬉しく思います。



(文責 SSWer 宮地さつき)

<参考URL> - ニコト) 受援センター・△キのていそいそーと、お手合、せり会東部るも  
・NPO法人 全国子ども福祉センター <http://kodomo0.jimdo.com/>  
・カトリック大阪大司教区 こどもの里 <http://www.k5.dion.ne.jp/~sato/>

**<連絡先>**  
**本宮市教育委員会 幼保学校課 学校教育係(本庁2階)**  
**TEL:33-1111(内線236) E-mail:[ssw@city.motomiya.lg.jp](mailto:ssw@city.motomiya.lg.jp)**  
**ダイヤルイン TEL:24-5445**  
**(10月6日からダイヤルインが導入されました。)**